

貸切バス（初任者・準初任者）特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	寺尾 昌樹
実施年月日	2025年 4月 2日10:00~12:00	指導時間	座学 2 時間
			実技 時間
実施場所	本社営業所	指導講師	寺尾 昌樹

【初任運転者指導項目】 選任する前に全項目実施する。

- 座学（①から⑥合計10時間以上） 実技指導（20時間以上）
- ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項（運行指示書の遵守を含む）
- ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
- ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（シートベルトの着用徹底等）
- ④ 危険の予測及び回避（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導）
- ⑤ ASV車両の適切な運転方法
- ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正
- ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）※ 28.12.1より施行

【準初任運転者指導項目】 上記①から⑦のうち、④（制動装置の急操作方法に限る）、⑥及び⑦について実施

【実施した具体的な指導内容】

- ・バスを運転する場合の心構え
バス事業の公共性と社会的使命、バス運転者の使命、交通事故防止の重要性、安全運行の心構え、バス運転者の注意義務
- ・バス運行の安全と旅客の安全確保
点検・整備の重要性への理解、中間点検の方法、終業点検の方法、点呼の重要性—乗務前点呼の実施、乗務終了後の点呼の実施、遠隔地での点呼と点検、乗務記録の記入
- ・バス構造上の特性
車高、車長、死角、スピード
- ・乗車中の旅客の安全確保
走行中の安全確保の方法、安全な運転操作、高齢者・障がい者の安全確保、バスの性能を知って安全確保

【配布資料】

- ・中国バス協会「バス安全運転教本」
- ※1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は3年間保存
- 2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付
- 3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名(必須)	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印
E乗務員							

貸切バス（初任者・準初任者）特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	室川 昌義
実施年月日	2025年 4月 2日13:00～16:00	指導時間	座学 3 時間
			実技 時間
実施場所	本社営業所	指導講師	室川 昌義

【初任運転者指導項目】選任する前に全項目実施する。

座学（①から⑥合計10時間以上） 実技指導（20時間以上）

- ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項(運行指示書の遵守を含む)
- ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
- ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（シートベルトの着用徹底等）
- ④ 危険の予測及び回避(当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導)
- ⑤ ASV車両の適切な運転方法
- ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダの記録を利用した運転特性の把握と是正
- ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）※ 28.12.1より施行

【準初任運転者指導項目】 上記①から⑦のうち、④(制動装置の急操作方法に限る)、⑥及び⑦について実施

【実施した具体的な指導内容】

・乗降時の旅客の安全確保

乗車時の安全確保の方法、降車時の安全確保の方法、停留所での注意事項、高齢者・障がい者の乗降時の安全確保

・運行路線・経路、営業区域の交通状況

運転基準図・経路調査の活用、運転実技研修、日常運転の注意点、事故事例またはヒヤリ・ハット例の活用

・危険の予測と回避、緊急時の対応

危険予測の考え方、危険予測訓練の実施方法、指差呼称(安全呼称)の活用

・運転適性に応じた安全運転

運転適性検査とは、診断結果に基づく助言・指導、ストレスに対する対処法

・交通事故に関わる運転者の心理的・生理的要因と対処法

過労運転・改善基準告示の概要、静止視力と動体視力

【配布資料】

・中国バス協会「バス安全運転教本」

・

※ 1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダの記録等を添付すること。ドライブレコーダの記録は3年間保存

2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付

3 指導実施後、ドライブレコーダの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名(必須)	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印
E乗務員							

貸切バス（初任者・準初任者）特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	寺尾 昌樹
実施年月日	2025年 4月 3日9:00～11:00	指導時間	座学 2 時間
			実技 時間
実施場所	本社営業所	指導講師	寺尾 昌樹

【初任運転者指導項目】 選任する前に全項目実施する。

座学（①から⑥合計10時間以上） 実技指導（20時間以上）

- ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項(運行指示書の遵守を含む)
- ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
- ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（シートベルトの着用徹底等）
- ④ 危険の予測及び回避(当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導)
- ⑤ ASV車両の適切な運転方法
- ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダの記録を利用した運転特性の把握と是正
- ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）※ 28.12.1より施行

【準初任運転者指導項目】 上記①から⑦のうち、④(制動装置の急操作方法に限る)、⑥及び⑦について実施

【実施した具体的な指導内容】

- ・交通事故に関わる運転者の心理的・生理的要因と対処法
 視野、錯覚、反応時間(空走時間)、3つのヒューマンエラー「わき見」「急ぎ」「思い込み」、運転中の血圧の変動、アルコールの影響、薬物の影響、事故を起こしやすい運転特性と欲求
- ・健康管理の重要性
 生活習慣病の危険を知る、肥満・メタリック症候群、生活習慣の改善による病気予防、ストレスチェックによるメンタル面のケア
- ・安全装置を備えるバスの運転方法とドライブレコーダの活用
 安全装置の機能を理解する、ドライブレコーダの映像の活用
- ・一般道路での安全運転の方法
 車庫を出発する前に一貸切バス出庫時に最低限確認すべき事項、運転姿勢と服装、運転中の注意事項、交差点の通行方法、追突事故の防止、踏切の通過、軌道敷内の通行方法、路肩走行の禁止、カーブでの運転方法、追越し・追抜きの方法

【配布資料】

- ・中国バス協会「バス安全運転教本」

※1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダの記録等を添付すること。ドライブレコーダの記録は3年間保存

2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付

3 指導実施後、ドライブレコーダの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名(必須)	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印
E乗務員							

貸切バス（初任者・準初任者）特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	寺尾 昌樹
実施年月日	2025年 4月 3日13:00～16:00	指導時間	座学 3 時間
			実技 時間
実施場所	本社営業所	指導講師	寺尾 昌樹

【初任運転者指導項目】選任する前に全項目実施する。

座学（①から⑥合計10時間以上） 実技指導（20時間以上）

- ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項（運行指示書の遵守を含む）
- ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
- ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（シートベルトの着用徹底等）
- ④ 危険の予測及び回避（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導）
- ⑤ ASV車両の適切な運転方法
- ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正
- ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）※ 28.12.1より施行

【準初任運転者指導項目】 上記①から⑦のうち、④（制動装置の急操作方法に限る）、⑥及び⑦について実施**【実施した具体的な指導内容】**

- ・一般道路での安全運転の方法
 転回ならびに方向転換、後退時の運転、夜間運転、トンネル内の運転、山間部での運転、他者に対する注意、フェリー乗船・下船時の注意事項、ワマン走行の留意点・交替運転者の配置基準/ワマン運行の上限、貸切バスの運転、危険物など物品の持込み制限
- ・高速道路での安全運転の方法
 高速道路の特性、高速道路の施設、高速道路の運転原則、高速道路の注意事項、故障・事故時の措置
- ・異常気象時の運転
 長雨・濃霧時の安全運転、大雨時の安全運転、強風時の安全運転、雪道、凍結道走行時の安全運転、大地震発生時等の措置、異常気象時の措置基準
 ・非常事態時の措置
 事故処理の基本、バスの故障、バス火災、踏切で通行不能になったとき、道路が交通遮断になったとき、車内で急病人が出たとき、運転中、身体に異常を感じたとき、車内で凶悪犯罪が発生したとき、不審物発見時の対応の仕方、相互扶助体制について

【配布資料】

- ・中国バス協会「バス安全運転教本」
- ・
- ・

※1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は3年間保存

2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付

3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名(必須)	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印
E乗務員							

貸切バス（初任者・準初任者・乗務員）特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	沼本 福三 沼本
実施年月日	2025年4月4日9：00～17：00	指導時間	座学 時間
			実技 6時間40分
実施場所	総社～児島～備前	指導講師	富田 勲

【初任運転者指導項目】 選任する前に全項目実施する。


- 座学（①から⑥合計10時間以上） 実技指導（20時間以上）
- ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項（運行指示書の遵守を含む）
- ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
- ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（シートベルトの着用徹底等）
- ④ 危険の予測及び回避（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導）
- ⑤ ASV車両の適切な運転方法
- ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正
- ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）※ 28.12.1より施行

【準初任運転者指導項目】 上記①から⑦のうち、④（制動装置の急操作方法に限る）、⑥及び⑦について実施


【実施した具体的な指導内容】

- ・ ハンドル操作・クラッチ操作
- ・ ブレーキ操作は正しくできているか
- ・ カーブ指導
- ・ 一時停止（完全にタイヤが止まっているか）
- ・ 安全な発進と停止、交差点の通過などの指導



※ 1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は3年間保存
 2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付
 3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名(必須)	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印
E乗務員							


貸切バス（初任者・準初任者・乗務員）特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	沼本 福三 沼本
実施年月日	2025年4月5日9：00～15：00	指導時間	座学 時間
			実技 4時間20分
実施場所	総社～吉備中央町～神石高原	指導講師	沼本 福三
<p>【初任運転者指導項目】 選任する前に全項目実施する。</p> <p><input type="checkbox"/> 座学（①から⑥合計10時間以上） <input type="checkbox"/> 実技指導（20時間以上）</p> <p><input type="checkbox"/> ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項（運行指示書の遵守を含む）</p> <p><input type="checkbox"/> ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（シートベルトの着用徹底等）</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 危険の予測及び回避（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導）</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ ASV車両の適切な運転方法</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）※ 28.12.1より施行</p>			
<p>【準初任運転者指導項目】 <input type="checkbox"/> 上記①から⑦のうち、④（制動装置の急操作方法に限る）、⑥及び⑦について実施</p>			
<p>【実施した具体的な指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 右左折時の死角・一旦停止の確認 ・ 走行時の車間距離が短くなっていないか ・ 高速道路本線への合流 ・ 法定速度を守って走行しているか ・ 上記ドライブレコーダーの記録を本日も 			
<p>※ 1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は3年間保存</p> <p>2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付</p> <p>3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う</p>			
受講者名(必須)	印	受講者氏名	印
E乗務員			

貸切バス（**初心者**・準初心者・乗務員）特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	沼本 福三 
実施年月日	2025年4月7日9：00～17：00	指導時間	座学 時間
			実技 6時間40分
実施場所	総社～美崎町～蒜山	指導講師	山田 章夫
<p>【初任運転者指導項目】 選任する前に全項目実施する。</p> <p><input type="checkbox"/> 座学（①から⑥合計10時間以上） <input type="checkbox"/> 実技指導（20時間以上）</p> <p><input type="checkbox"/> ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項(運行指示書の遵守を含む)</p> <p><input type="checkbox"/> ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（シートベルトの着用徹底等）</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 危険の予測及び回避(当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導)</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ ASV車両の適切な運転方法</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）※ 28.12.1より施行</p>			
<p>【準初任運転者指導項目】 <input type="checkbox"/> 上記①から⑦のうち、④(制動装置の急操作方法に限る)、⑥及び⑦について実施</p>			
<p>【実施した具体的な指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラッチ操作（クラッチの合わせ方等） ・ブレーキ操作（エンジンブレーキの使用、急ブレーキ） ・車間距離は短くないか ・一時停止（完全にタイヤが止まっているか） ・安全な発進と停止、交差点の通過などの指導 			
<p>※1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は3年間保存</p> <p>2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付</p> <p>3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う</p>			
受講者名(必須)	印	受講者氏名	印
E乗務員			

貸切バス（**初任者**・準初任者・乗務員）特別指導記録簿

営業所名	本社営業所	運行管理者	沼本 福三 
実施年月日	2025年4月8日9：00～17：00	指導時間	座学 時間
			実技 5時間30分
実施場所	総社～備前～牛窓	指導講師	藤原 英生

【初任運転者指導項目】 選任する前に全項目実施する。

- 座学（①から⑥合計10時間以上） 実技指導（20時間以上）
- ① 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項(運行指示書の遵守を含む)
 - ② 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
 - ③ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項（シートベルトの着用徹底等）
 - ④ 危険の予測及び回避(当該運転者が運転する同一車種区分の車両を用いて制動装置の操作方法の指導)
 - ⑤ ASV車両の適切な運転方法
 - ⑥ ⑦で実施したドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正
 - ⑦ 安全運転の実技（当該運転者が運転する同一車種区分の車両を運転させ、添乗により指導）※ 28.12.1より施行

【準初任運転者指導項目】 上記①から⑦のうち、④(制動装置の急操作方法に限る)、⑥及び⑦について実施

【実施した具体的な指導内容】

- ・ 信号のない横断歩道の安全確認
- ・ 歩行者や自転車との側方間隔は十分にあるか
- ・ 車間距離は短くないか
- ・ 一時停止（完全にタイヤが止まっているか）
- ・ 安全な発進と停止、交差点の通過などの指導

※ 1 使用したテキスト、資料、ドライブレコーダーの記録等を添付すること。ドライブレコーダーの記録は3年間保存

2 具体的な内容を乗務員台帳に記載するか、又は、乗務員台帳に実施年月日を記載したうえで、この書面を台帳に添付

3 指導実施後、ドライブレコーダーの記録又は添乗等の方法により習得度の程度を確認し、必要に応じて指導を行う

受講者名(必須)	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印	受講者氏名	印
E乗務員	